



# 松中だより

校訓: 自主・自律・自学

学校だより 第8号

千葉市立松ヶ丘中学校

令和3年11月30日(火)

## 1 先生方や子供たちに感謝

銀杏などの木々葉が色付き始め、秋の深まりが感じられます。

今週の週初め、雨風が過ぎた後の校庭と学校の周辺は、たくさんの落ち葉や折れた枝で埋め尽くされていました。学校の周辺の地域には落ち葉が敷地にまで侵入しご迷惑をかけてしまい、申し訳ないと思っています。学校職員で落ち葉掃きは行っていますが、取りきれないのが現状でした。

清掃時間には生徒による落ち葉掃きがはじまりました。特に嬉しかったのは3年生の動きです。てきぱきと頑張って落ち葉掃きをしている3年生に最上級生とし、松ヶ丘中学校を背負うにふさわしいリーダーの姿を感じさせられました。学校のために清掃時間前から落ち葉掃きに取り組んでいる生徒や先生方に深く感謝をいたします。

## 2 感動的な3年生の合唱コンクール(11月4日)

11月4日、本校体育館において合唱コンクールを実施しました。課題曲の「ふるさと」をコロナ禍による緊急事態宣言や合唱方法の制限などがある中、練習方法の工夫など3年生は涙ぐましい努力をしながら、短期間ではありますが、内容の濃い練習してきました。どのクラスも曲の歌詞の意味や強弱を考え、姿勢や表情も良い立派な発表でした。どのクラスも歌声がホールに響き渡り、聴衆を魅了するものでした。講師の幕張西中学校 長谷川明宏先生からも高い評価を得ることができました。

### 審査結果

学校長賞(金賞): 3年1組

銀賞: 3年2組

指揮者賞: 石塚 大(3年1組)

## 第三話 土気往還の約25km名所巡りの旅 その3 千葉東病院から鎌取十字路まで

「仁戸名の一里塚」は大和橋から始まる土気往還の最初の一里塚で、仁戸名(ニヘナ・ネエナ)の地名は古く、にた(谷の湿地)、な(場所)を示すものです。また、仁戸名町周辺は仁戸名市民の森の庚塚(かのえづか)古墳群や、仁戸名小学校内にある作山古墳群などの史跡があることから古くから人々が暮らしていたことがわかります。土気往還(現大網街道)を東に進んでいくと、鎌取十字路(浜道との十文字)があります。鎌取という地名はこの地がかつて千葉氏の閥場(草刈場)で、奥方の化粧代を稼ぐため鎌一丁につき銭十六文を徴収しました。黙って草を刈った者は鎌を取り上げられたことからこの地を「鎌取」と名付けました。更に土気往還と交差する現、県道浜野四街道はかつて浜道と呼ばれ、内陸と浜野などの港を結ぶ道でした。この道には平将門伝説があり、その言い伝えはこの道を白馬で通ってはいけないとか白壁を塗ってはいけないというものです。この禁を破ると大けがをすると恐れられていました。これは平将門の愛馬が白馬であったことに由来し、平将門を敬うものだとも考えられます。



仁戸名の一里塚があったと推定される場所



作山古墳群



現鎌取十字路

## 【12月の予定】

月	火	水	木	金	土	日
		1 1・2年特別日課 3年 10:30 登校	2 新入生体験入学	3 1・2年後期中間 テスト一斉返却日	4	5
6 1年生校外学習 2・3年学年内日課	7	8	9 朝活動カット 3年4回実力テスト	10 1・2年 合唱コンクール	11	12
13 1・2年保護者 面談1日目	14 1・2年保護者 面談2日目	15 1・2年保護者 面談3日目	16 1・2年保護者 面談4日目	17 1・2年保護者 面談最終日	18	19
20	21	22 給食終了日	23 お弁当の日 冬季休業前集会	24 冬季休業 ～1/5	25	26
27 市内一斉 学校閉庁日～1/4	28	29	30	31 大晦日		

## 【1月のおもな行事予定】

3日（月） 育成委員会新春マラソン大会	10（月） 成人の日
5日（水） 冬季休業終了	19（水） PTA定例会 19:00
6日（木） 冬季休業明け集会	22（土） 千葉市総合展覧会 ～30日（日）
7日（金） 給食開始	25（火） 3年後期期末テスト

## ☆お知らせ ～大雨や地震の際、土砂災害から身を守るために～

土砂災害は一瞬のうちに多くの人命を奪う恐ろしい災害です。しかも、その発生を事前に予測することは非常に難しいです。土砂災害から身を守るためには、日頃からの備えが大切です。本校学区は起伏が多く、登下校においても高い崖やブロック塀、大谷石の法面のそばを通る子どもたちが多くいます。この数か月、有感地震も頻発していることから土砂災害から身を守るためのポイントをいくつかお知らせします。

### 1 自分の住む場所が「土砂災害危険箇所」かを確認

各都道府県は、土砂災害のおそれがある場所を「土砂災害危険箇所」もしくは「土砂災害警戒区域」に指定しています。自分の住む家や通学路がそうした場所にあるか、国土交通省のHPで確認する事が大切です。

### 2 大雨時や大きな地震時には「土砂災害 警戒情報」に注意

大雨による土砂災害発生の危険度が高まったとき、市町村長が避難勧告などを発令する際の判断や、住民の自主避難の参考に、都道府県と気象庁は共同で「土砂災害警戒情報」を発表します。土砂災害警戒情報は、テレビ、ラジオの他に、各都道府県の砂防部局や気象庁のホームページなどにも掲載されますので、大雨が降り始めたときには確認しましょう。また、大きな地震の時も同様に考えましょう。土砂災害警戒情報や大雨警報が発表されたときには、補足情報として、「土砂災害警戒判定メッシュ情報」が提供されますので、気象庁や都道府県のHPで確認しましょう。メッシュ情報は、5km四方の領域ごとに、2時間先までの土壌雨量指数、土砂災害発生の危険度の高まりを5段階で判定した結果を、色別で表示します。

### 3 日ごろから通学路や日常使用する道での危険箇所をチェック

以前も学校だよりでお知らせしたように本校学区は起伏が多く「土砂災害警戒区域」に指定されている場所だけでなく危険箇所が多く存在します。日頃から保護者の方と子ども通学路等の確認をお願いします。